

省スペース リモートI/O変換器 R6 シリーズ

通信カード

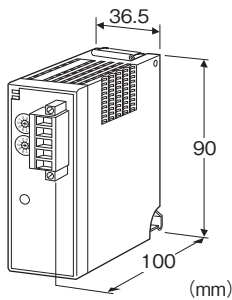
(Tリンク用(富士電機製))

主な機能と特長

- アナログ入出力やデジタル入出力信号をフィールドバス(Tリンク)に入出力するリモートI/Oカード
- 省スペース、低消費電力
- 各種直入力信号に対応

アプリケーション例

- DCSやPLC用のリモートI/O



形式:R6-NF1①

価格

基本価格 80,000円

加算価格

・オプション仕様により加算あり。

ご注文時指定事項

・形式コード:R6-NF1①

①は下記よりご選択下さい。

(例:R6-NF1/Q)

オプション仕様(例:/C01)

①付加コード

◆オプション仕様

無記入:なし

/Q:あり(オプション仕様より別途ご指定下さい。)

オプション仕様

◆コーティング(詳細は、弊社ホームページをご参照下さい。)

/C01:シリコン系コーティング +500円

/C02:ポリウレタン系コーティング +500円

関連機器

・コンフィギュレータソフトウェア(形式:R6CON)

コンフィギュレータソフトウェアは、弊社のホームページよりダウンロードが可能です。

本器をパソコンに接続するには専用ケーブルが必要です。

対応するケーブルの形式につきましては、ホームページダウンロードサイトまたはコンフィギュレータソフトウェア取扱説明書をご参照下さい。

機器仕様

接続方式

・通信:コネクタ形ユーロ端子台

(適用電線サイズ:0.2~2.5mm²、剥離長 7mm)

・内部通信バス:ベース(形式:R6□-BSB)に接続

・内部電源:ベース(形式:R6□-BSB)より供給

ハウジング材質:難燃性灰色樹脂

アイソレーション:Tリンク-内部通信バス・内部電源間

入出力点数設定:4、8、16、64

(側面ディップスイッチにより設定)

入出力設定:入力、出力、入出力混在

(側面ディップスイッチにより設定)

RUN表示ランプ:赤/緑2色LED

交信正常時 緑色点灯、データ受信時 赤色点灯

(ディップスイッチにて切替)

ERR表示ランプ:赤/緑2色LED

交信異常時 緑色点灯/点滅、データ送信時 赤色点灯

(ディップスイッチにて切替)

占有エリア設定:エリア1、2を側面のディップスイッチにより設定

Tリンク仕様

局番設定:00~99 ロータリスイッチにより設定

伝送路形態:マルチドロップ

通信方式:半二重方式

伝送速度:500kbps

推奨ケーブル/最大伝送距離

・KPEV-SB 0.75mm²×1対/700m・T-KPEV-SB 1.25mm²×1対/1000m

設置仕様

使用温度範囲:-10~+55℃

使用湿度範囲:30~90%RH(結露しないこと)

使用周囲雰囲気:腐食性ガス、ひどい塵埃のないこと

取付:ベース(形式:R6□-BSB)に取付

(注、ベースは必ずR6□-BSBをご使用下さい。)

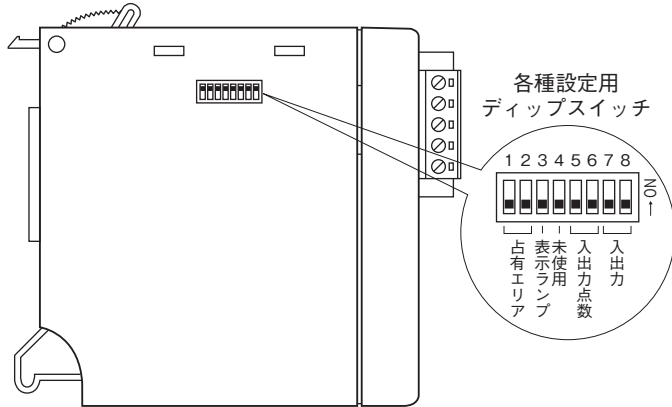
質量:約150g

性能

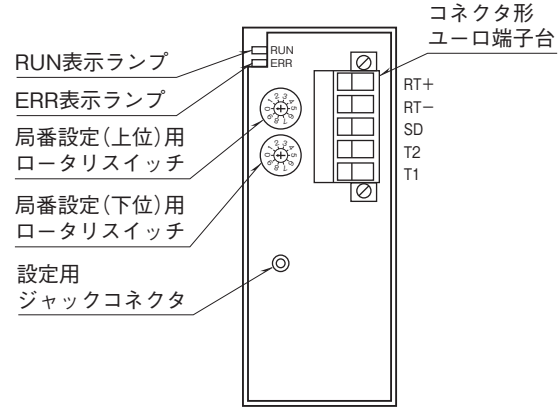
絶縁抵抗:100MΩ以上/500V DC
 耐電圧:Tリンク-内部通信バス・内部電源間
 500V AC 1分間

パネル図

■側面図



■前面図



伝送データ

本器側面のディップスイッチにより、占有エリア“1”モードと占有エリア“2”モードに切替えることができます。

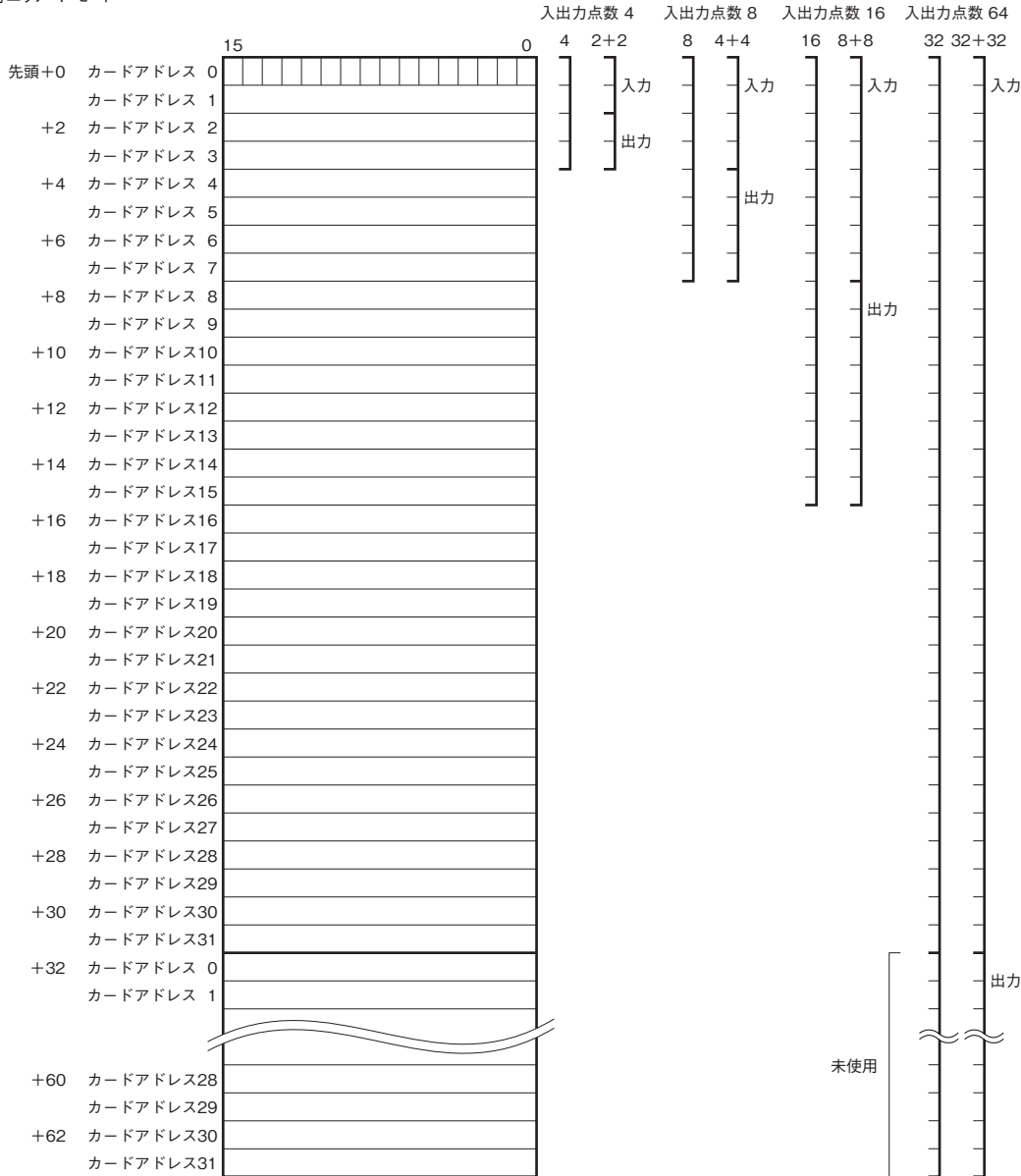
占有エリア“1”モードとは全ての入出力カードの入出力データを1ワードとし、入出力カードのカードアドレスと入出力データとが1ワードで対応します。

このため、アナログ2点の入出力カードでは、2点目の入出力は使用できなくなります。最大32枚の入出力カードを接続することが可能となります。

占有エリア“2”モードとは、全ての入出力カードの入出力データを2ワードとし、入出力カードのカードアドレスと入出力データとが2ワードで対応します。

このため、占有エリアが“1”の接点入出力カードでも2ワードのエリアが確保されます。

■占有エリア“1”モード



入出力点数 設定	カード枚数	点数		
		入力のみ	出力のみ	入出力混在
4	4	4	4	2 + 2
8	8	8	8	4 + 4
16	16	16	16	8 + 8
64	32	32	32	32 + 32

入出力点数設定とカード枚数が等しくなります(入出力点数“64”を除く)。SW5、6で設定された入出力点数が、カードアドレス0から順に伝送データに割付けられます。

入出力混在に設定した場合、前半のカードが入力となり後半のカードが出力となります。

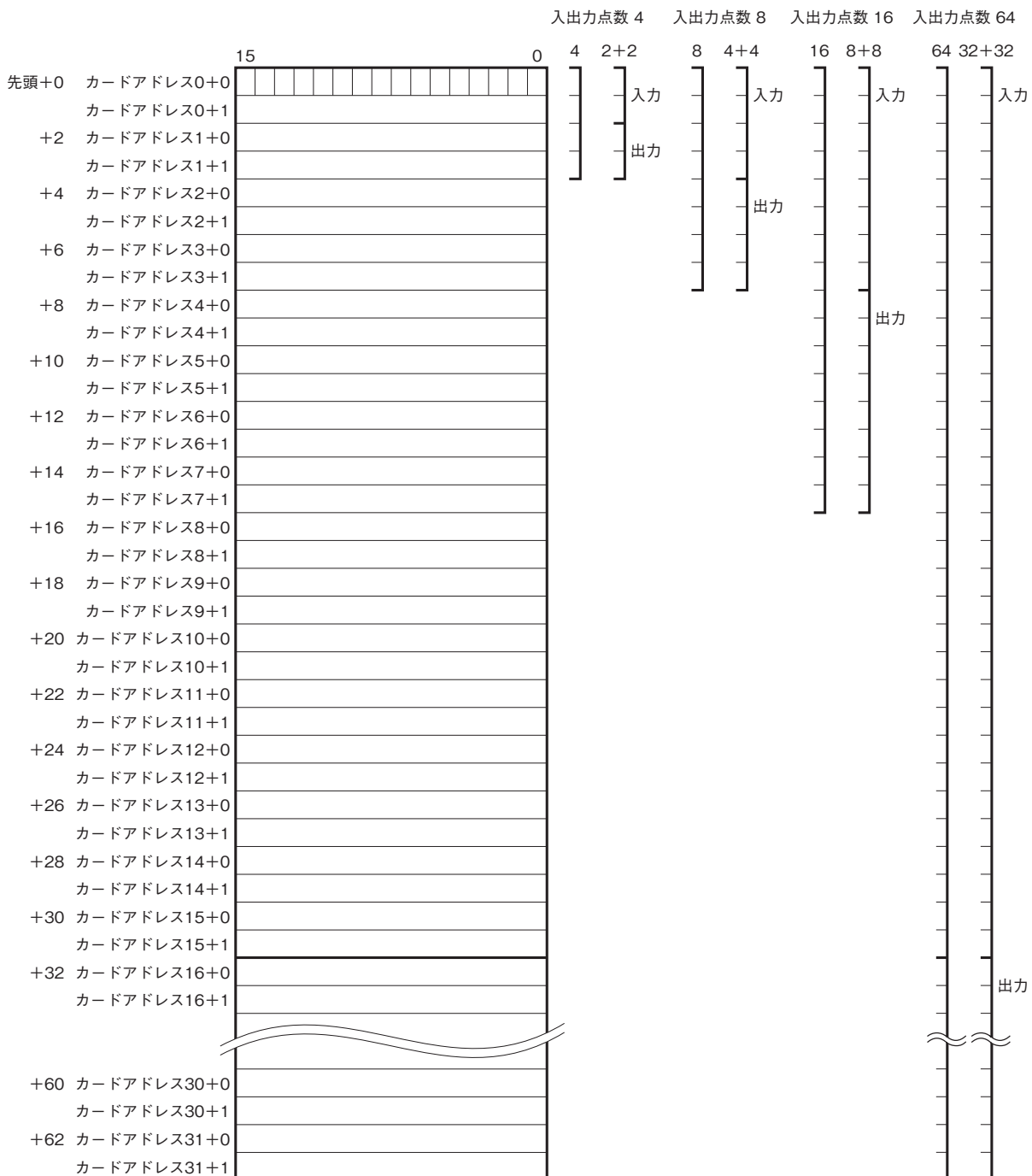
例えば、入出力点数設定を“8”で入出力設定を“入出力混在”にした場合には、カードアドレス0～3が入力カード、カードアドレス4～7が出力カードでなければなりません。

入出力点数設定を“64”に設定した場合、入出力設定が“入力のみ”や“出力のみ”において、後半の32点(32ワード)が未使用となります。PLCでは領域が確保されますので注意して下さい。

入出力点数設定を“64”に設定し入出力設定が“入出力混在”の場合には、前半の32点(32ワード)が入力に、後半の32点(32ワード)が出力となります。

この設定のみ、入出力カードを任意のカードアドレスに設定して使用することが可能です。ただし、実装可能なカード枚数は、入出力カードの合計で32枚に制限されます。

■占有エリア“2”モード



入出力点数 設定	カード枚数	点数		
		入力のみ	出力のみ	入出力混在
4	2	4	4	2 + 2
8	4	8	8	4 + 4
16	8	16	16	8 + 8
64	32	64	64	32 + 32

入出力点数設定とカード枚数を2倍した値が等しくなります。SW5、6で設定された入出力点数が、カードアドレス0から順に伝送データに割付けられます。

入出力混在に設定した場合、前半のカードが入力となり後半のカードが出力となります。

例えば、入出力点数設定を“8”で入出力設定を“入出力混在”にした場合には、カードアドレス0～1が入力カード、カードアドレス2～3が出力カードでなければなりません。

入出力データ

■アナログ16ビットデータ



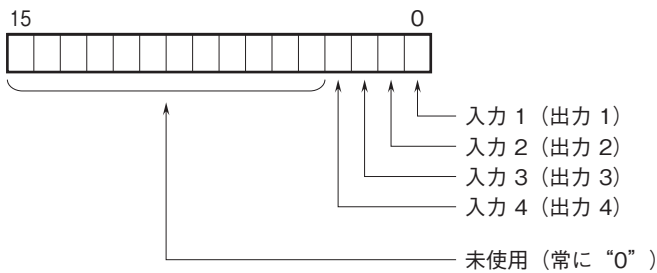
各カードに設定されている入出力レンジの0~100 %を0~10000のバイナリ(2進数)で示します。

温度入力では、温度単位が摂氏(°C)、絶対温度(K)の場合、実量値を10倍した値で示します。例えば、実量値が25.5°Cの場合は“255”がデータとなります。

温度単位が華氏(°F)の場合、実量値の整数部がデータとなります。例えば、実量値が135.4°Fの場合は、“135”がデータとなります。

また、各データの負の値は2の補数で示します。

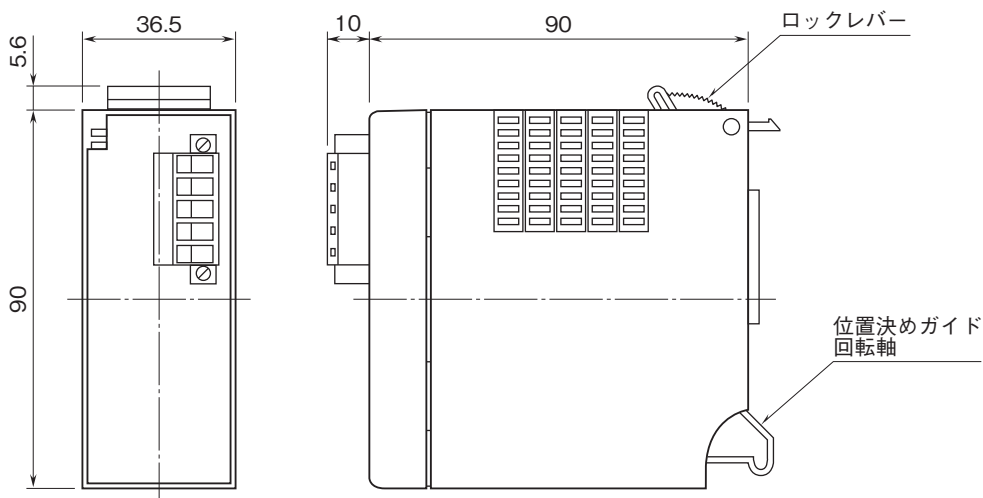
■接点データ



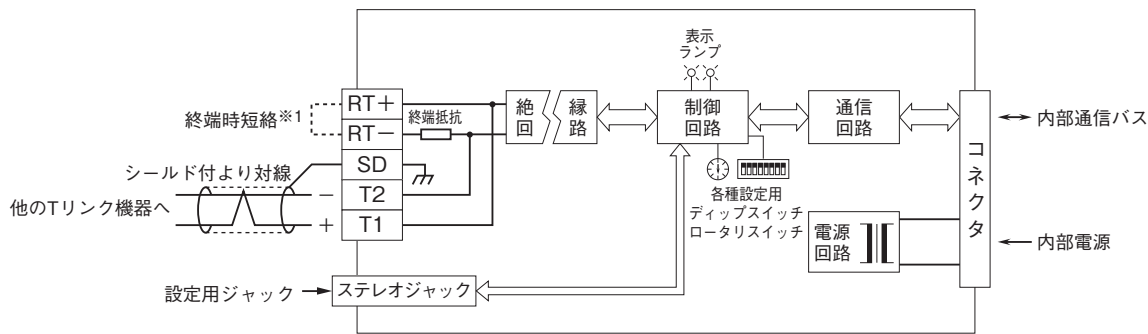
0:OFF

1:ON

外形寸法図(単位:mm)



ブロック図・端子接続図



※1、より対線の伝送ラインが終端の場合は(=渡り配線がない場合)、端子RT+、RT-間を付属のショートチップ(または配線)で短絡して下さい。ユニットが伝送ラインの途中に配線されているときは、端子RT+、RT-間のショートチップをはずして下さい。
注) 渡り配線はT1、T2、SD端子を使って下さい。



- 記載内容はお断りなしに変更することがありますのでご了承下さい。
 - ご注文・ご使用に際しては、弊社ホームページの「ご注文に際して」を必ずご確認下さい。
 - 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制をご確認の上、必要な手続きをお取り下さい。安全保障貿易管理については、弊社ホームページより「輸出(該非判定)」をご覧下さい。
- お問い合わせ先 ホットライン：0120-18-6321